



平成25年1月8日

各 位

上場会社名 株式会社 小島鐵工所
代表者 代表取締役社長 児玉 正蔵
(コード番号 6112)
問合せ先責任者 取締役執行役員経理部長 田中 教司
(TEL 027-322-1221)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年10月5日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年11月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年12月1日～平成24年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,350	5	15	5	0.50
今回修正予想(B)	1,279	△176	△141	△143	△14.38
増減額(B-A)	△71	△181	△156	△148	
増減率(%)	△5.3	△3,620.0	△1,040.0	△2,960.0	
(ご参考)前期実績 (平成23年11月期)	1,206	△273	△238	△240	△24.02

修正の理由

当社の主製品である大型油圧プレス機は、形状、能力、機能のほか、納期、一台当たりの金額もそれぞれ異なる個別受注生産でありますので、月単位での売上は一定しておらず、季節的変動によるものでもなく、納期的、金額的なバラツキにより売上の変動が大きくなり、また当社製品は大型機械ゆえ、設計・生産着手から納品・据付まで平均して1年程度を要するため、受注から売上計上まで相当期間のズレを生じてしまうのが当社の事業の特性であります。

このような事業の特性を持つ当社におきまして、売上計上につきましては工事進行基準を適用いたしておりますが、当第112期通期における売上高につきましては、海外向け大型機械売上の健闘や国内市場への売上寄与もあり、前期12億6百万円を上回ることができる見込みであります。前回発表予想数値13億5千万円には若干達せず12億79百万円に減額するものであります。

利益面につきましては、原価低減を始め、人件費等諸経費全般に亘り削減に努めてまいりました結果、前期の損失水準(2億40百万円)を縮小・改善できる見込みではあります。業界の受注競争激しく、引き続き好採算物件が少ない状況下にあり発表予想数値(5百万円)を表記の当期純損失(1億43百万円)に減額修正するものであります。

なお、受注状況につきましては、当期の受注高は、営業努力により前期(13億69百万円)の倍増に近い25億55百万円の受注を確保しており、受注残高に関しましても前期末比(7億26百万円)3倍相当の20億1百万円を確保しております。また、現在、国内外から累計約10億円台の新たな引き合いが浮上しており、この成約に向け全社一丸となって努力しているところであります。

* 上記予想は、現時点に於いて、入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる結果になる可能性があります。

以 上